

1-1 関連JIS規格（JIS A 5430 繊維強化セメント板 抜粋）

〔1〕適用範囲

この規格は、石綿以外の繊維で強化成形したスレート（波板及びボード）、けい酸カルシウム板及びスラグせつこう板（以下、繊維強化セメント板と総称する。）について規定する。

〔2〕種類及び記号

繊維強化セメント板の種類、略号、使用する原料および主な用途は、表1-1による。

種類及び記号

表1-1

種 類		記 号	主な原料	主たる用途	
スレート	波 板	小 波	SC	外壁用	
		大 波	LC	屋根及び外壁用	
	ボード	フレキシブル板	F	セメント，繊維及び混和材料	内装及び外装用
		フレキシブル板 A	FA		
		軟質フレキシブル板	NF		
		平 板	S		
けい酸カルシウム板	タイプ 2	0.8 けい酸カルシウム板	石灰質原料，けい酸質原料，繊維及び混和材料	内装用	
		1.0 けい酸カルシウム板			1.0FK
	タイプ 3	0.2 けい酸カルシウム板		0.2TK	耐火被覆及び内装用
		0.5 けい酸カルシウム板		0.5TK	

〔3〕品 質

(1) 外観

繊維強化セメント板の外観は、表 1-2 による。

外観の欠点の種類及び判定

表1-2

欠点の種類	判 定
割れ及び貫通亀裂	あつてはならない

(注) ※はく落を含む。

(2) 性能

繊維強化セメント板の性能は、表 1-3 による。

種類及び記号

表1-3

種 類		受渡試験		型式試験	
		かさ密度 (g/cm ³)	曲げ強さ (N/mm ²)	吸水による 長さ変化率 (%)	難燃性 又は発熱性
タイプ 2	0.8 けい酸カルシウム板	0.60 以上 0.90 未満	10.0 以上	0.15 以下	難燃 1 級 または 発熱性 1 級
	1.0 けい酸カルシウム板	0.90 以上 1.20 未満	13.0 以上		
タイプ 3	0.2 けい酸カルシウム板	0.15 以上 0.35 未満	0.39 以上	-	
	0.5 けい酸カルシウム板	0.35 以上 0.70 未満	1.5 以上※		

(参考) 製造方法によって繊維に配向性のある場合、繊維の流れ方向に平行に荷重を加えた場合の曲げ強さは、繊維の流れ方向に直角に荷重を加えた場合の実測値の、60%程度である。

(注) ※不燃認定 NM-8578 が不燃材料と認定する 1 号品の曲げ強さは 1.96N/mm²以上です。

[4] 寸法及び許容差

表1-4
(単位：mm)

種類		厚さ	許容差		直角度 (mm/m)		直線度 (mm/m)
			厚さ	長さ及び幅	直角定規法	対角線法	
けい酸カルシウム板	タイプ 3	12	+2.0 -0	± 3	4 以下	5 以下	3 以下
		15					
		20	± 2.0				
		25					
		30					
		35					
		40					
		45					
		50					
		55					
60							
70							